

令和4年度第59回東村山市民体育大会 ジョイフルソフトボール大会



期日：令和4年7月3日（日） 17日（日）

予備日24日（日）

会場：運動公園グラウンドA・B面

共催：東村山市、公益社団法人東村山市体育協会

主管：東村山市ソフトボール連盟

令和4年度 第59回東村山市民体育大会

Joyful Softball 大会要項

1. 目的 ソフトボール競技を通じて、市民相互の親睦と交流を図るとともに、市民体育大会の一環として、より一層の普及を図る。
2. 共催 東村山市、(公社)東村山市体育協会
3. 主管 東村山市ソフトボール連盟
4. 大会役員・競技委員・審判員 (敬称略)

名誉会長	田口 弘			
大会会長	内田智啓			
競技委員長	下澤由起夫			
競技主任	金子幸子			
審判委員長	城川善行	副審判長	秋吉龍二	
大会会計	渡辺公夫			
事務局	金子幸子	河野栄作		
競技委員	石川 慶	足立直己	飯沼昌行	吉原重文
	広瀬敬司	稲葉昭一	河野栄作	杉山佳孝
	畝本 新	中山政利	古川義夫	
	小林久美子	石川恵子	金子幸子	
審判員	日本ソフトボール協会登録公認審判員			

5. 大会期日及び会場

7月3日(日) 運動公園グラウンドA・B面

※予備日 7月17日(日) 24日(日)

※グラウンドコンディションが不良又は荒天の場合の試合中止の判断は連盟で行い、試合当日7時以降に各チーム代表へ連絡します。

6. 大会運営 本大会は、参加者の健康状態を確認するなど新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて実施します。参加者皆様のご理解とご協力をお願いします。
7. 開会式・閉会式 行いません。ただし、表彰式のみ試合終了後に行います。
8. 表彰 各種目、優勝、準優勝、第三位。ただし、メダルは各20名。
9. 参加資格
 - (1) 東村山市ソフトボール連盟加盟チーム又は、原則、東村山市に在住、在勤、在学する者で構成するチームとします。
 - (2) 参加チームは、必ずスポーツ保険に加入していること。
 - (3) 捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用してもよい。また、打者、走者及び守備者は、ヘルメットを着用してもよい。

(4) 種目

男子の部 (※男子チームは女子との混合編成を認めます。)

女子の部

10. 問合せ先

○問い合わせ先
〒189-0012 萩山町 1-32-43 下澤まで
携帯 090-1400-4948 Fax 042-348-8682
E-mail y.shimo.shimo@gmail.com

11. 監督・代表者会議、抽選会

監督・代表者会議は、行いません。 組合せ抽選は、当連盟役員による代理抽選とします。抽選結果は、連盟ホームページに掲載するとともに、結果を郵送でお知らせします。

代理組合せ抽選 令和4年6月17日(金) 19時 スポセン

12. 選手登録 選手登録表は、当連盟ホームページからダウンロードできます。

当日、「選手登録表」を試合開始前に本部受付へ提出してください。

13. 参加費 6,000円 (連盟加盟の有無にかかわらず)

※銀行振込みによるお支払いをお願いします。

東京みらい農業協同組合 東村山支店
東村山市ソフトボール連盟 会長 ともあき 内田智啓
普通口座 0044491

14. 健康チェックシート確認表

チーム代表は、「健康チェックシート確認表」を試合開始前に本部受付へ提出してください。

令和4年度 第59回東村山市民体育大会

ジョイフルソフトボール大会競技規定及び注意事項

本大会は、以下の競技規定及び注意事項並びに新型コロナウイルス感染症防止対策を遵守して、安全・安心な大会となるよう大会関係者、参加者皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 1 チーム編成 選手登録は、監督、主将、コーチ、スコアラーを含む25名以内とし、選手を兼ねる場合は選手登録を行ってください。
- 2 ユニホーム番号 監督30、主将10、コーチ31、32、選手は1～99番。
- 3 打順表 試合に出場する全選手を記入し、試合開始30分前に4部綴りを提出します。
- 4 試合方法
 - (1) 正式の試合は、7回である。得点差によるコールドゲームは採用しない。
 - (2) 試合開始後、50分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
 - (3) 時間制限のため7イニングできないと審判員が判断したときは、予め「次のイニングを最終回にする」と通告しておく。審判員が「次のイニングを最終回にする」と通告していなくて、先攻チームの攻撃中に50分を経過してしまったときは、そのイニングを最終回とする。ただし、そのイニングの先攻チームが得点制限ルールを適用されていて、後攻チームの攻撃中に50分を経過したときは、次のイニングを最終回とする。審判員は、試合が7イニングできる場合は最終回通告をする必要はない。
 - (4) 1イニングの得点が、5点に達したら攻守交代とする。なお、最終回は得点制限を行わない。ただし、ホームランの場合のみ5点を超えても得点にする。
 - (5) 男子予選及び女子の試合において、試合終了時に同点の場合は、引き分けとする。ただし、決勝トーナメントのうち決勝戦は、タイブレーカーを採用し、それ以外は抽選により勝敗を決める。
 - (6) 男子予選での順位決定方法は、全チーム同じ2試合のため、対戦相手、イニングが異なることを配慮して、①勝率>②得失点差が少ないチーム>③得失点差が多いチーム>④抽選の順に決定する。
 - (7) 男子予選で勝ち上がった各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
- 5 競技規則 2022年度日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- 6 競技場
 - (1) 本塁から外野フェンスまでの距離は、男子58m以上69m以内、女子は50m以上61m以内とする。塁間距離は男女とも18.29mとする。当日、ホームランゾーンを設ける予定。
 - (2) 投球距離は、男女とも12.19mとする。

- (3) ホームプレートの後ろにストライクマットを設置する。
- (4) 打者用のホームプレートの外に走者用の第二ホームプレート（スコアリングプレート）を設置し、三塁ベースから第二ホームプレートの中心に向かって走者用のランニングラインを引き、三塁と第二ホームプレートの中にランニングラインと直角にリターン禁止ラインを引く。

7 プレイヤー

- (1) 守備のプレイヤーは、男女とも10人である。
- (2) エキストラプレイヤー（EP）を採用したチームは、11人で攻撃を行う。エキストラプレイヤーは、打撃だけでなく他のプレイヤーと交代して守備につくことも出来る。（注）DPルール、EHルールは、採用しない。
- (3) スターティングプレイヤーであれば、エキストラプレイヤーも再出場できる。
- (4) プレイヤーが走者になったとき、怪我等により走者として継続できなくなったときはテンポラリーランナーを使用することができる。アウトカウントに関係なく、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする。
（注）テンポラリーランナーに間違った選手が出た場合には、正しい選手と交代させる。（それに対するペナルティはない）

8 投 球

- (1) 投手は、軸足を投手板に触れて立ち、自由足は投手板の横幅よりも内側で地面に触れていること。（前でも後ろでもよい）
- (2) 投手は、身体の全面を打者に向け、球を片手または両手で持って、1秒以上5秒以内完全に停止した後、投球動作を起こさなければならない。
- (3) 投球は、打者の身長以上、身長の2倍以下の高さでアーチを描くように投げなければならない。（注）上記（1）～（3）に違反すると、不正投球でボールデッドになり、打者にワンボールが与えられる。（走者は進塁できない）ただし、この投球を打者が空振りしたときはストライクで、打者が打ったときは不正投球が取り消され、試合は継続される。
- (4) 投球が規定通りで、ホームプレートかストライクマット上に落下した場合は（少しでも触れていればよい）ストライクと判定される。
- (5) 投手が、故意四球を望むときは、そのことを球審に申し出れば投球する必要はない。
- (6) 投球が地面にふれるかストライクマットを通過したらボールデッドになる。
- (7) 捕手は捕手席後方で構え、投球がワンバウンドした後で捕球するようにする。
- (8) 準備投球は1分間を限度とし、初回または投手交替時は3球、それ以外は1球とする。

9 打 撃

- (1) 打者が投球をバントまたは、チョップヒット（打球を地面にたたきつけてバウンドさせる 打法）をするとアウトになる。
- (2) ツーストライク後のファールボールは、打者アウトになる。

(3) 死球は認めず、ボールとなる。

10 走 塁

(1) 投球を打者が打つか、ホームプレートに達する前、又はワンバウンドする前に走者が塁を離れると離塁アウトになる。

(2) 打者が空振りしたときの離塁は、走者をアウトにしないで元の塁に戻す。ただし、離塁アウトは優先される。

(3) 盗塁は、認められない。

(4) 走者は守備者との衝突を避けるためスライディングをしてもよい。

(5) 守備者は、走者との衝突を避けるように努め、走者のために塁の前面の半分以上を空けておかなければならない。

(6) 走者が得点しようとするときは、ランニングラインに沿って走り、第二ホームプレート（スコアリングプレート）に触れなければならない。また、走者が間違っ打者用のホームプレートに触れたり、跨いだりした場合走者は直ちにアウトになる。

(7) 走者の第二ホームプレートへの触塁より先に、守備者が打者用ホームプレート上（ストライクマットを含む）で球を確保すれば、走者はアウトになる。リターン禁止ラインを超えた走者に直接タッチ（触球）してもアウトにはならない。

(8) 走者がリターン禁止ラインを超えた後、三塁に戻ることはできない。戻れば走者は直ちにアウトになる。

11 ベ ン チ 組合せ番号の若いチームが一塁側とします。

12 用 具

(1) ボールは、(公財)日本ソフトボール協会推奨ジョイフルスローピッチソフトボール専用球を使用する。

(2) 金属製スパイクは禁止する。

(3) 捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用してもよい。

(4) 打者、走者及び守備者は、ヘルメットを着用してもよい。

13 審 判 員 審判は、日本ソフトボール協会登録公認審判員が行います。

14 装 飾 品 腕時計、ブレスレット、イヤリング、ピアス、ネックレス等身体の外に出る宝石装飾品は着用しません。

15 ボール回収 攻守にかかわらず、ベンチ側チームが回収します。

16 グラウンド整備 勝利チームが行います。ただし、最終戦は両チームで行います。

17 喫 煙 競技場内は禁煙です。

18 ごみ処理 空き缶、弁当屑等は、各チームの責任で持ち帰ってください。

19 組み合わせ 別紙のとおり

20 そ の 他 新型コロナウイルス感染防止対策を遵守してください。

新型コロナウイルス感染症防止対策

東村山市ソフトボール連盟

当連盟において、各種大会を開催するにあたって、以下のとおり新型コロナウイルス感染症防止対策を講じることとしています。日本ソフトボール協会の基本的な内容をもとに、東京都ソフトボール協会が作成したガイドラインに沿って具体的に示したものです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためには、一人ひとりの「咳エチケットやこまめな手洗い、手指の消毒等」が重要となります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大会に関わる全ての関係者【健康チェック】(役員・選手・審判員等)

【大会直前2週間前からの行動制限及び健康管理】

☆ 大会直前2週間前（一般的な潜伏期間）から当日までの健康管理と記録

「健康チェックシート」 ⇒ 試合当日、チーム代表へ提出する

(参加者の制限)

- ・ 本人及び同居家族に一人でもコロナウイルス感染者が発生した場合
- ・ 健康チェック期間中に本人が 37.5℃以上の発熱及び体調不良症状があった場合
- ・ チェックシートに未記載がある場合
- ・ 主催・主管者側の感染拡大防止にご賛同・ご協力いただけない場合

選手・審判員等

☆ マスク

- ・ マスクの持参と着用
- ・ プレイ中以外はマスクを着用（ベンチ内・会話・グラウンド整備時等）

☆ 自己管理

- ・ 徹底した感染予防対策と健康管理
- ・ 37.5℃以上の発熱、体調不良や異変を感じたら、大会には参加しない。

☆ ソーシャルディスタンス（社会的距離 2 m） ⇒ プレイ中は最低 1 m以上

- ・ 握手・ハイタッチ・ハグ等、他者との接触を避ける。
- ・ ベンチ内では、会話は控えめにしてください。
- ・ 野手はプレイ以外ではピッチャーサークル以内に入らない。
- ・ 用具の個人使用（グラブ・バット・ヘルメット等自分の物を使用）
- ・ 共用用具使用前後における、徹底したアルコール消毒の励行。
- ・ プレイ中の会話は、最低 1 m以上の距離を確保し、手・グラブ等で口を覆う。
- ・ 咳や痰を吐かない。
- ・ 飲み物は各自持参、飲み回しやコップの共用はしない。
- ・ ロジンは投手一人での使用とし、他投手や野手と共用しない。打者用も同様とする。

チーム（監督者）

☆ チーム健康管理・観察

- ・ 徹底した感染予防対策と健康管理（毎日の検温と記録）
- ・ 体調不良や異変を感じたら、大会に参加させない。

☆ チーム共通理解

- ・ 会場への移動は、各自による現地集合、現地解散が望ましい。
- ・ いかなる場所においても、ミーティングや打ち合わせをする際は、マスク着用もしくは2 m以上の間隔を確保したうえで行う。
- ・ ベンチ内ではマスク着用のうえ、最低1 mの間隔をとる。
- ・ チームとして用具の共用は極力行わない。ただし、共用せざるを得ない用具は、必ず使用前後にアルコール消毒を行う。
- ・ 試合中、守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1 m間隔にて行う。
- ・ 試合中、攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする。
- ・ 監督によるタイム・抗議の際は、審判と2 m以上離れて行う。
- ・ 選手の家族・友人等の応援は、感染拡大リスク軽減のためご遠慮ください。

試合進行上（審判等）

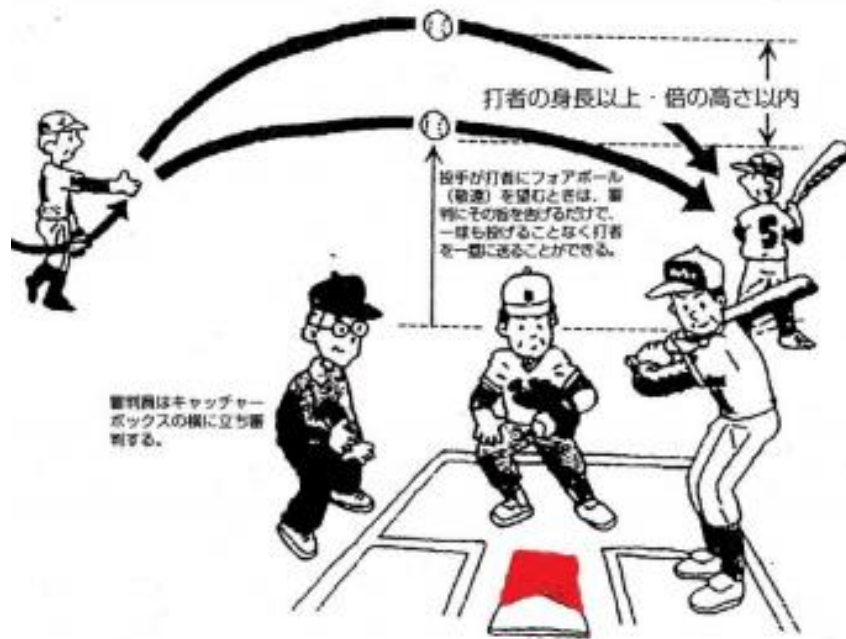
☆ 原則、2022年度オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。

- ・ 球審のマスクはとって試合をしてもよい。
- ・ 球審が使うボールケース・刷毛等の用具は事前に消毒しておくこと。
- ・ 試合開始前、両チームによる整列・挨拶は、自チームベンチ前に1 m間隔にて横一列に整列し、審判の合図により挨拶を行う。
- ・ ファウルボール等で、守備者以外が触れたボールはアウトボールとし、消毒する。
- ・ 投手用ロジンは各チーム、各投手が用意したものを使用する（投手間の共用は厳禁）。
- ・ 打者のヘルメットやバットは守備側の選手は触れないようにする。
- ・ 試合中、守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1 m間隔にて行う。
- ・ 試合中、攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする。
- ・ 監督によるタイム・抗議のときは、審判と2 m以上離れて行う。
- ・ 試合終了後の両チームによる挨拶は、開始時と同様に行う。
- ・ グラウンド整備を行うときは、マスクを着用する（役員・選手同様）。

受付方法

- ・ 受付は各チーム代表が行う。
- ・ 受付に並ぶ際、人との距離は1 m以上開けること。
- ・ 受付時は必ずマスク着用し、手指消毒を行う。
- ・ 受付時に、チーム代表は別紙「**健康チェックシート確認表**」と「**選手登録票**」を提出する。

投 球



ストライク

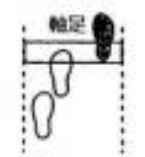


捕手は、ワンバウンド以上で捕る。

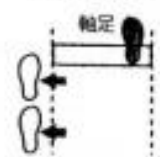


投手は、軸足を投手板に触れて立ち、他の足が投手板横幅より内側で地面に触れていればOKです。
(前方でも後方でも可)

正しいセット



不正のセット



投手は、正しいセットの状態で1秒以上5秒以内の間、片手または両手でボールを保持し静止しなければいけません。

競技場 (ファーストピッチに準ずる)

(cmは四捨五入)

